

女子バスケットボール部 卒業生からのメッセージ 「ラクロス 関西選抜メンバーに選出！」

66期卒の青木佑夏です！

高校の時は神戸から毎日1時間半掛けて通っていました。全学区から入学出来るようになった初めの年で入学したので1年生の時は神戸方面から通うのは私だけでした。毎日朝早く始発に乗って朝練に行くのが大変だったのをよく覚えています。寝過ごしてJR尼崎まで行ったりもしましたね 笑

今は遠い所からも沢山の部員が通っていると聞いてとても嬉しいです！時間の無い中でどう行動するか。遠いからこそ逆算して考える必要があり、高校生活を通して時間の使い方は上手くなったように思えます。遠くから通っている部員の皆さん、その状況を言い訳にするのではなく、活かせる様に考えてみて欲しいです。私個人としては、長い道のり中でその日の目標を立てたり、宿題をしたりしていました。試合前は心の準備する時間としても有効でした。その移動時間を無駄と思うかどうかは自分次第です。ちなみに練習の2時間前に起きている方が体は動きやすいそうですよ(^)ポジティブに考えるだけでプレーも変わってきます！家が近い人も遠い人もやる事は一緒だと思います。それぞれの状況を自分のやり方で自分らしく過ごして下さい。3年間頑張った事は自分の自信に必ず繋がって来ます！

現在私は関西学院大学でラクロス部に所属しています。私たちの目標は「日本一」1回生から4回生まで全員合わせて部員は80人程います。去年は唯一2回生でスタートメンバーとしてコートに立つ事ができ、チームの結果としては関西制覇、全国大会では準優勝の結果を残しました。

又、関西選抜に選ばれオーストラリア遠征にも参加しました。練習中は1つのミスでも先輩に厳しく怒られたり、Aチームから外されてしまう事もありました。部員が多い分、試合に出ない先輩や同期全ての人の気持ちを背負ってプレーするというプレッシャーに押し潰されそうになった事も沢山ありました。でもその中でも頑張ることが出来たのは高校時代があったからだと大学に入ってから強く感じます。先生をはじめ、沢山の方々に厳しく指導して頂いた事で精神的にも強くなり、根本的な考え方も大きく成長できたと思っています。どんなに怒られても良い意味で見返してやる！と思って頑張る事が出来る様になりました。今はATリーダーとしてチームを引っ張る役職についています。壁にぶつかる事は多々あります



が、辛い時にいつも支えてくれるのは高校時代の自分で、まだまだ出来ると感じさせてくれています。今は怒られて落ち込んだり、むっとしてしまう事もあると思いますがその言葉を素直に受け止めてみて下さい。きっと自分が変わるきっかけになるはずです。また元気を貰いに練習見に行きます！最高の仲間と最高の3年間を過ごして下さい。応援しています！

